世界が進むチカラになる。

2026 年 11 月 17 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

MUFG、松尾研究所、Third Intelligence による包括的パートナーシップの締結について
～日本発の AI で、金融の未来をつくる～

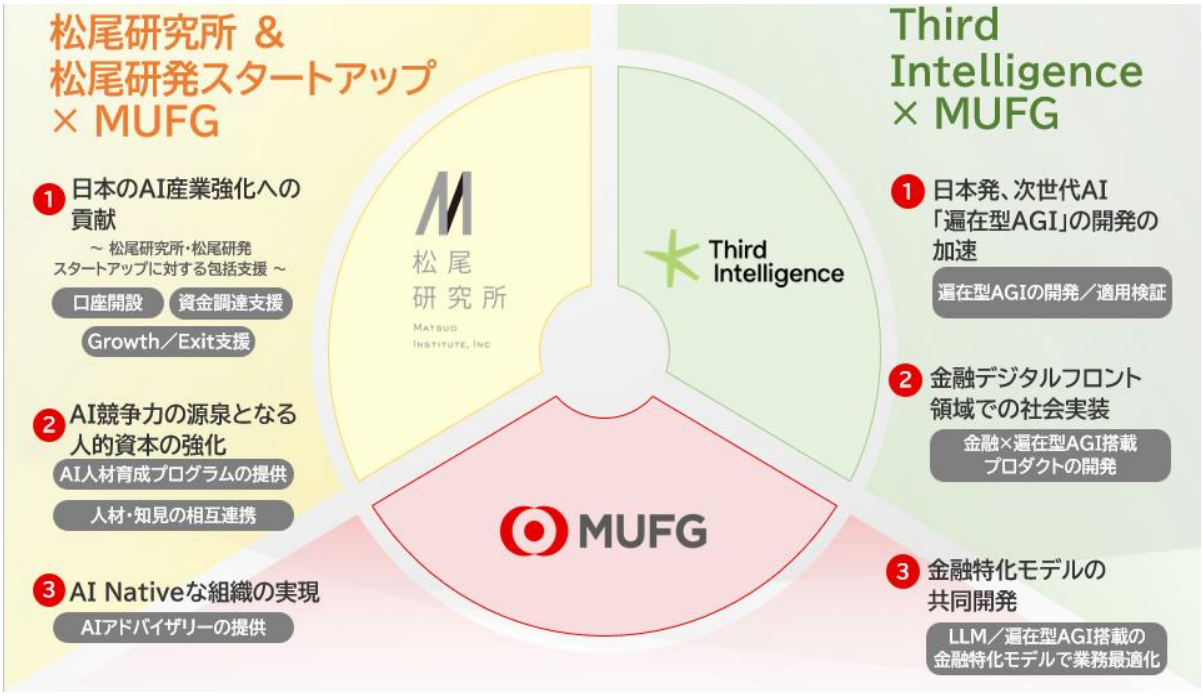
株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 半沢 淳一、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 大澤 正和、以下 三菱 UFJ 銀行）は、今般、株式会社松尾研究所（代表取締役 川上 登福、以下 松尾研究所）および株式会社 Third Intelligence（代表取締役 CEO 石橋 準也、以下 Third Intelligence）と、AI を活用した金融サービスの進化と日本の AI 産業の発展を目的とする包括的パートナーシップ契約（以下 本パートナーシップ）を締結いたしました。

1. 本パートナーシップにおける取り組み

MUFG はこれまで、AI の活用および新たな金融サービスの創出に取り組んでまいりました。また、三菱 UFJ 銀行は、2025 年に Third Intelligence と出資契約および協業に関する覚書を締結し、同社が開発する日本発の次世代 AI「遍在型 AGI（汎用人工知能*）」の金融分野における活用可能性について検討を進めてまいりました。

＊ 汎用人工知能（AGI）とは、人間が実現可能な様々な知的作業を理解、学習、実行することができる人工知能のことを指します。

本パートナーシップでは、MUFG グループが有する金融サービスおよび顧客基盤、松尾研究所が有する AI の研究開発・社会実装および人材育成に関する知見、Third Intelligence が有する日本発の次世代 AI「遍在型 AGI」の研究開発力および AI プロダクトの開発力により、次世代 AI の高度化と金融領域を通じた社会実装を推進するとともに、日本の AI 産業の更なる発展に貢献してまいります。



本パートナーシップの全体像

（1）松尾研究所および松尾研発スタートアップ*との取り組み

松尾研究所が有する AI の研究開発・社会実装に関する知見と人材、および松尾研発スタートアップと、MUFG グループの金融機能、顧客基盤をつなぎ、新しい技術開発と社会実装が循環するエコシステムの創出に取り組みます。具体的には、松尾研発スタートアップ等に対する口座開設、資金調達および Growth／Exit 支援に加え、MUFG の取引先企業との連携等を通じて、新たな技術の社会実装を後押しし、日本の AI 産業の更なる発展に取り組みます。

また、松尾研究所が有する AI の研究開発・社会実装に関する知見と人材育成のノウハウを生かし、MUFG への AI 人材育成プログラムの提供、人材・知見の相互連携等、MUFG の AI 競争力の源泉となる人的資本の強化を推進します。

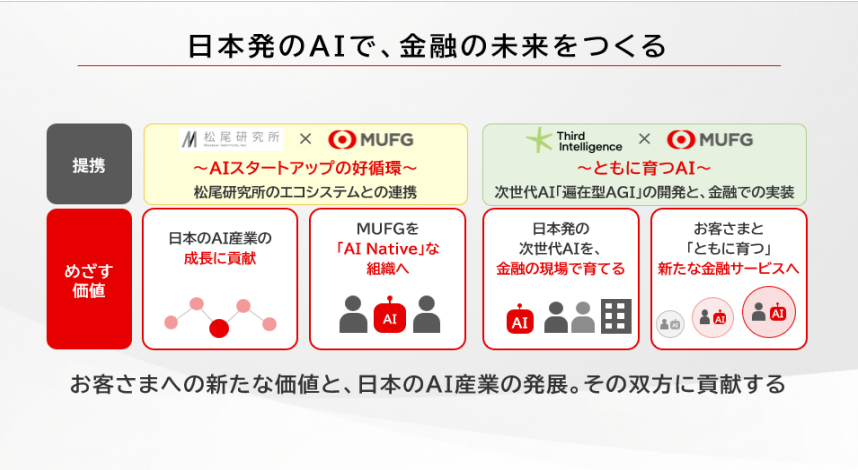
＊「松尾研発スタートアップ」とは、東京大学 松尾・岩澤研究室出身者が創業した企業、または同研究室の支援を受けて創業した企業のうち、技術力、事業力の両面で成長可能性が認められ、かつ同研究室の理念に共感し、ともにエコシステムの拡大に取り組むスタートアップ企業群です。（登録商標第 6667237 号、第 6710069 号）

（2）Third Intelligence との取り組み

AI 研究および AI プロダクト開発企業の Third Intelligence が研究開発を進める、日本発の次世代 AI「遍在型 AGI」は、現在の生成 AI の主流である Transformer とは異なる新たなアルゴリズムに基づき、長期記憶や継続学習、推論速度などの面で高い潜在力を有することが特徴です。個人や組織それぞれの価値観を理解し、一人ひとり、一社一社との対話を通じて継続的に学習、成長していくことを目ざしています。MUFG と Third Intelligence は、「遍在型 AGI」の確立に向けた研究開発の加速、金融デジタルフロント領域における社会実装、金融領域に特化した AI モデルの共同開発を、連携して推進します。

MUFG は、AI との関係を、単に質問に答える「道具」から、状況を理解して考え、提案し、対話と経験を重ねるほどお客さまに寄り添い「ともに育つ」関係へと進化する未来を思い描いています。このような未来の実現に向け、相続領域における「遍在型 AGI」活用に関する PoC も開始しています。

2. 今後の展望



本パートナーシップの目ざす金融の未来

MUFG は、「日本発の AI で、金融の未来をつくる」という 3 社共通の志のもと、AI による新しい金融サービスを実現し、お客さまへの新たな価値の創出と日本の AI 産業の更なる発展に貢献してまいります。

以上